

炭酸ガス半自動溶接技能者評価試験及び準備講習会

(一) 神奈川県溶接協会は、標記講習会及び評価試験を実施しております。この試験は日本工業規格(J I S)に基づいて実施されている溶接技術資格です。半自動溶接作業に携わる方はこの資格を取得されますようお願いいたします。国際品質保証(I S O 9000s)や、P L法(製造物責任)対策としても品質の向上は欠くことの出来ないものです。溶接技術の向上を目指してこの資格を取得されますようご案内いたします。

1. 期 日 講習開始9時・終了16時 (学科講習は、終了 17時) 予定

	学科講習会	実技講習会	実技講習会	試験日
2018年	2月 4月 5月 6月 8月 10月 12月	6日(火) 3日(火) 8日(火) 5日(火) 7日(火) 2日(火) 4日(火)	7日(水)又は 4日(水)又は 9日(水)又は 6日(水)又は 8日(水)又は 3日(水)又は 5日(水)又は	8日(木) 5日(木) 10日(木) 7日(木) 9日(木) 4日(木) 6日(木)
2019年	2月	5日(火)	6日(水)又は	7日(木) 8日(金)

*実技講習のみ他に、毎週月曜日(祝日の場合は翌火曜日)に開催しています。
詳細は手溶接実技講習会をご覧ください。

2. 会 場 川崎市川崎区本町2-11-19 一般財団法人日本溶接技術センター
3. 申込み方法 *講習会(実技)は下記申込書に記入し受講料を添えて、ご持参又は郵送してください。
*試験は別途申込書に記入し試験料金を添えて、試験予定日の約一か月前までにご持参又は郵送して下さい。試験申込書は、電話連絡でお送りいたします。
*申込み受付後に受講票及び受験票をお渡します。
4. 申 込 先 川崎市川崎区本町2-11-19 一般社団法人神奈川県溶接協会
電話 044-233-8367 FAX 044-246-5265
5. そ の 他 実技講習及び試験には作業着、靴、革手袋、保護眼鏡等を持参してください。

平成30年度より学科講習会の申込用紙が別途(写真貼付要)必要となりました。

学科講習後の確認試験に合格すると、学科試験免除で試験を受験することができます。

7月よりSC-2F・SC-3F受験の方も免除対象となり、JISZ3841すべての方が受講可能です。

6. 講習会種目及び受講料 (消費税8%を含む) *会員料金は当協会会員の方の適用となります。

記号	種 目	協会会員料金(円)	非会員料金(円)
A	学科講習のみ	12,960	12,960
B	学科講習及び実技講習(薄板3.2mm)	31,960	32,960
C	" (中板9.0mm)	34,460	35,460
D	" (厚板19mm)	36,460	37,460
E	実技講習のみ(薄板3.2mm)	19,000	20,000
F	" (中板9.0mm)	21,500	22,500
G	" (厚板19mm)	23,500	24,500
H	" (中板9.0mm) SC 組合せ	25,000	26,000
I	" (厚板19mm) SC 組合せ	27,000	28,000

パイプの実技講習料金につきましては別に問い合わせください

学科講習のテキスト代 込み ◎上記の金額には、評価試験の料金は含まれていません。

7. 試験料金 : 評価試験料金は、ホームページにも掲載されています。 URL <http://www.jwes-kanagawa.jp>

8. 振込みの場合・・・横浜銀行川崎支店 普通預金 2200225 シャ)カナガワケンヨウセツキョウカイ

炭酸ガス半自動溶接技能者評価試験受験準備講習会申込書 *

学科	実技希望日	フリガナ 受講者名	受講種目(記号に○をしてください)	講習料金	試験種目	試験日
月 日	月 日		A. B. C. D. E. F. G. H. I			
月 日	月 日		A. B. C. D. E. F. G. H. I			

・申込者名・会社名

・料金振込みの場合、予定日を記入してください。
月 日 振込み予定

・住 所(郵便番号)

・担当者

・電 話

試験材	資格と記号	溶接方法	試験材寸法
薄板 (裏当て金なし)	基本級 SN-1F	下向き (板) 突き合わせ溶接	板の厚さ 3.2
	専門級 SN-1V	立向き	200×125×2枚
	専門級 SN-1H	横向き	溶接方向が200です
	専門級 SN-1O	上向き	開先はI型又はV型
	専門級 SN-1P	パイプ (管) // 100A	
中板 (裏当て金あり)	基本級 SA-2F	下向き (板) 突き合わせ溶接	板の厚さ 9
	専門級 SA-2V	立向き	200×125×2枚
	専門級 SA-2H	横向き	溶接方向が200です
	専門級 SA-2O	上向き	開先はV型
	専門級 SA-2P	パイプ (管) // 150A	
中板 (裏当て金なし)	基本級 SN-2F	下向き (板) 突き合わせ溶接	板の厚さ 9
	専門級 SN-2V	立向き	200×125×2枚
	専門級 SN-2H	横向き	溶接方向が200です
	専門級 SN-2O	上向き	開先はV型
	専門級 SN-2P	パイプ (管) // 150A	
厚板 (裏当て金あり)	基本級 SA-3F	下向き (板) 突き合わせ溶接	板の厚さ 19
	専門級 SA-3V	立向き	200×125×2枚
	専門級 SA-3H	横向き	溶接方向が200です
	専門級 SA-3O	上向き	開先はV型
	専門級 SA-3P	パイプ (管) // 200A	
厚板 (裏当て金なし)	基本級 SN-3F	下向き (板) 突き合わせ溶接	板の厚さ 19
	専門級 SN-3V	立向き	200×125×2枚
	専門級 SN-3H	横向き	溶接方向が200です
	専門級 SN-3O	上向き	開先はV型
	専門級 SN-3P	パイプ (管) // 200A	
中板 (裏当て金なし) 組み合わせ溶接 1～3層ティグ溶接 その後半自動溶接	基本級 SC-2F	下向き (板) 突き合わせ溶接	板の厚さ 9
	専門級 SC-2V	立向き	200×125×2枚
	専門級 SC-2H	横向き	溶接方向が200です
	専門級 SC-2O	上向き	開先はV型
	専門級 SC-2P	パイプ (管) // 150A	
厚板 (裏当て金なし) 組み合わせ溶接 1～3層ティグ溶接 その後半自動溶接	基本級 SC-3F	下向き (板) 突き合わせ溶接	板の厚さ 19
	専門級 SC-3V	立向き	200×125×2枚
	専門級 SC-3H	横向き	溶接方向が200です
	専門級 SC-3O	上向き	開先はV型
	専門級 SC-3P	パイプ (管) // 200A	

・この他にセルフシールドガスアーク溶接 (ノーガス) の資格が別にあります。

中板はSS-2F・2V・2H・2O・2P、厚板は、SS-3F・3V・3H・3O・3Pです。

試験内容は上記のSA-2及びSA-3と同じです。

・1F・2F・3Fの記号の資格は、基本級といいます。最初はこの資格を取得してください。

その後、専門級 (V・H・O・P) が受けられます。但し、基本給と専門級を同時に受験することもできます。

学科試験：はじめてこの試験を受ける場合は学科試験があります。講習会を受けてから受験されますようおすすめいたします。

受験資格：基本級の試験は、経験1ヶ月以上の者、専門級の試験は、経験3か月以上の者でいずれも15才以上です。

試験材の見取り図

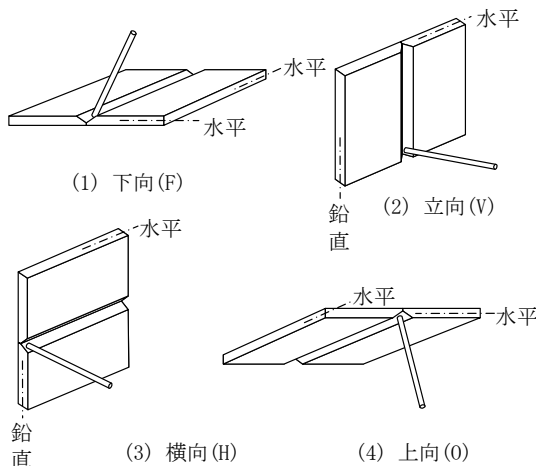


図1 板の溶接姿勢

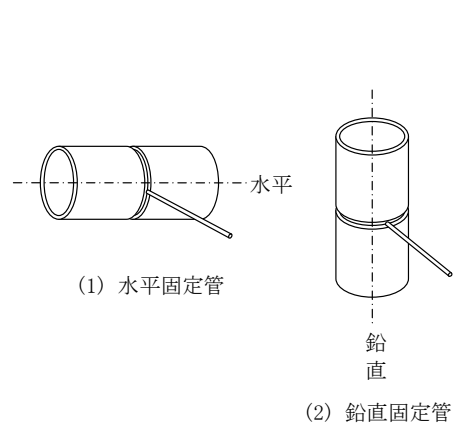


図2 管の溶接姿勢

溶接技能向上のための講習会ご案内

一般社団法人日本溶接協会
溶接技能者教育委員会

今後、建築鉄骨分野を中心に深刻な溶接技能者不足となることが予想されます。当協会では溶接技能者不足対策の一つとして溶接技能をより多くの従業員に修得していただき多能工化を図る目的で溶接技能者教育委員会を設立し、溶接技能者教育を開始することとしました。

当協会は、JISに基づき溶接技能者評価試験を実施し、資格証明書を発行しています。試験は学科試験と実技試験で構成されますが、近年合格率は低下傾向にあります。その一因として、全国的な各種技能における指導者不足の深刻化があります。企業内での教育についても指導者が少なくなっており溶接教育を受ける機会が減少していることが合格率低下につながっていると判断しております。このような状況に対応するため溶接技能者の技能向上のための講習会を実施することになりました。

溶接技能者の技能向上、スキルアップのために資格取得を目指す方へ要点を押さえたカリキュラムにより、分かりやすく、かつ合格を目標に指導を行います。

JIS評価試験合格を目指す方にとって最適な講習内容となりますので、奮っての受講をお勧めします。

記

1. 特徴

(1)本コース専用に新規作成した約70頁の専用テキストを準備

(2)学科講習終了後、学科確認試験で80点以上あれば、JIS評価試験の学科免除
(学科試験の免除期間は確認試験の合格日から3年間)

※講義と修得度確認試験は、日本語で実施致します。

試験問題の漢字には全てルビを振っております。

2. 開催日

半自動溶接 学科講習 2018年8月7日 (火)

3. 講習時間

9:00～16:00 昼食休憩 12:00～13:00

16:00～17:00 修得度確認試験

4. 講習内容

★学科新規作成の約70頁のテキストを使用。

テキスト（非売品）・・・学科受講者には、事前に配布します。

5. 会場

(一財) 日本溶接技術センター

川崎市川崎区本町2-1 1-1 9 JR川崎より徒歩20分 京急川崎より徒歩15分

6. 募集定員 *受付け順で、定員になれば、その時点で締切ります。

半自動溶接・・・各30人

7. 受講料

一講習 12,960円 (税込み) テキスト代、確認試験代含む

8. 申込み要領

申込みは別紙の「溶接技能者教育講習会受講申込書」に必要事項をもれなく記入し、写真添付の上、下記宛に送付あるいはご持参下さい。

(一社) 神奈川県溶接協会宛 TEL 044-233-8367

〒210-0001 川崎市川崎区本町2丁目11番19号

9. 締切

2018年7月27日(金) (定員に達し次第締切ります。)

10. 受講料金の払込について

- ・受講料の払込については、受講申し込み時に現金でお支払いただくか、下記銀行口座へお振込下さい。請求書をご希望の場合は、その旨お知らせください。

横浜銀行 川崎支店 (普通) 2200225 シヤ) カナガワケンヨウセツキョウカイ

11. 学科試験免除の範囲について

各部門の修了証に対応する学科試験免除の範囲は次の通りです。

- ・学科講習修了証(被覆アーク溶接): JIS Z 3801による手溶接技能者資格の内の被覆アーク溶接種別、ティグ溶接、組合せ溶接です。
- ・学科講習修了証(半自動溶接): JIS Z 3841による半自動溶接技能者資格の内のマグ溶接種別、組合せ溶接、セルフシールドアーク溶接種別です。

12. その他

- ・取消しについては逐次対応します。『受講票』発行後は、取消しは出来ず返金も出来ません。
- ・『受講票』『テキスト』は、受講料のご入金が確認後、申込み担当者様宛に郵送します。
- ・駐車場はありません。近隣に有料駐車場があります。
- ・詳細案内図、持参品等の注意事項は『受講票』でお知らせします。
- ・学科講習終了直後に実施する修得度確認試験で80点以上取得すれば、当日『学科講習修了証』を発行します。これを添えてJIS評価試験を申込みれば、学科試験が免除されます。
- ・問合せは(一社)神奈川県溶接協会(TEL044-233-8367)へお願いします。

(開催主体は(一社)日本溶接協会で、(一社)神奈川県溶接協会が担当窓口です。)

***実技講習は別に設定があります。日程等は神奈川県溶接協会へお問い合わせください。**

※ 受付番号：
※ 受講番号：

※印欄は 記入しないで下さい

写 真 (縦4.5×横3.5cm) 写真を貼る。 はがれることがあるので 写真裏面には氏名、生 年月日を記入する。 本人が確実に識別でき る写真を使用すること。
--

溶接技能者教育講習会 受講申込書

一般社団法人 日本溶接協会 溶接技能者教育委員会 殿

連絡先(申込み元) 1・2 を○で囲む

受講者	フリガナ		性別	生年月日
	氏名	(姓)	男・女	西暦 年 月 日生
1 自宅	現住所	〒		電話番号
	Eメール アドレス	(あれば)		
2 勤務先	フリガナ			
	名称			
	所属			電話番号
申込み担当者	所在地	〒		
	氏名			電話番号
	所属			
	Eメール アドレス			

	講習会コード	受講場所	受講コース/資格名	受講日
学科のみ	3007	(一財)日本溶接 技術センター	半自動溶接	2018年08月07日(火)
	3008		被覆アーク溶接	2018年09月04日(火)

◎ この講習を申込みの方は、下記の証明が必要です。

実務経験期間(1ヵ月以上)の証明	左記のとおり証明します。	西暦	年	月	日
年	(証明者) 会社名				
ヵ月					
西暦	氏名				
年 月 ~ 年 月		(印)			

*写真は、「学科講習修了証」の発行に使用します。

*評価試験を神奈川県で予定されている方は、下記もご記入下さい。

・試験日 月 日 ・種目 ・申込み状況 済 ・未